

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		みくま		第三者評価受審年度	令和5年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和5年度)	改善計画 (令和5年度末時点)	実施状況 (令和5年度末時点)	実施状況 (令和5年度末時点)	
事業所内のプライバシーへの配慮やリスク面の改善が求められます	空間が限られており、これ以上個室を設置することは難しい。ロッカーを間仕切り代わりにし、視覚面に配慮するなど工夫をするとともに、相談室を休憩に利用できるようにしているが、十分にプライバシーが確保できているとは言えない。階段には手すりを設置し、転倒などのリスクを軽減している。	間仕切りの追加など、よりプライバシーに配慮できる方法がないか検討する。また、ミーティングなどで事業所内の安全面に関するリスクの意見交換を行い、改善方法を検討する。また、希望者には隣接している同法人のワークセンターの個室などで休憩できるよう配慮する。	プライバシーに配慮できる方法について職員ミーティングで検討中である。また、ワークセンターの個室を利用して休憩することが可能であることを職員、利用者に伝達している。		
将来を見据えてマニュアルの目的を理解した上での有効活用が望まれます	昼礼やミーティングで必要に応じてマニュアルを確認しているが、支援方法など明文化が難しい内容もあり、全ての業務に対応しているわけではない。定期的にマニュアルの検討や見直しを行い、内容の充実が必要である。また、マニュアルの内容について理解を深める取り組みも必要と考えている。	これまで通り必要に応じてマニュアル内容の確認を行う。また、ミーティングなどで定期的にマニュアルの読み合せを行い、理解を深めるとともに内容の検討、見直しを行う。	3月の職員ミーティングでマニュアルの読み合せを行い、内容の見直しを検討中である。		
多くの相談支援に計画的に対応する工夫が期待されます	相談支援の希望があった場合は、必ず時間を作り対応するとともに、対応を待ってもらう場合は具体的に対応できる時間を伝えている。相談支援の希望が多いが、相談室が1室しかないため、すぐに対応できない場合がある点が課題である。	相談対応が重なった場合は、隣接している同法人のワークセンターの個室などを借りて対応する。	ワークセンターの個室を借りるなど、相談対応が重なった場合は、可能な限りその場で対応できるよう努めている。		

※この様式は、「〇〇市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。